

『忘れちゃだめだよ！』 マルコの福音書4章35～41節 2016.11.6(聖日礼拝説教より)

『主は、すべてのわざわいから、あなたを守り、あなたのいのちを守られる。主は、あなたを、行くにも帰るにも、今よりとこしえまでも守られる。』 詩篇121篇7～8節

◆人生には人の力の及ばないことが多い。テロや災害、不治の病、人の救い…。しかしそれらと直面する時、忘れてはならないことがある！

①**主の言葉への信頼！**創り主なる神は、いつ、どんな時も私たちに語られる。励まし助け、慰め癒すために。私たちは日々その方の御声を聴き、素直に従っているだろうか。『向こう岸へ渡ろう(35節)』と聞いた弟子たちは不安になった。天候が急変するガリラヤ湖へ夕闇迫って漕ぎ出すのは怖かった。案の定、大嵐～沈没寸前となり、彼らの不満は爆発！しかも頼みのイエス様は居眠りして何もしない。『私たちが溺れ死んでも何とも思わない？』と非難した！私たちも、時に理不尽な重荷を無理やり負わされ、助けもなく苦勞させられていると感ずることがある。この嵐に舞う小舟は私たちの人生！『向こう岸へ渡ろう』とは、その荒波を乗り越え、目的の港(御国)へ無事に導く主の声！『渡る』とは、海を渡る用語ではなく『通り抜ける』の意。イエス様は、人生の苦難を全て御存じで、『途中、どんな試練があなたを襲おうとも、無事通り抜け、向こう岸へ行くよ！』と約束！突然の試練、死の恐怖…その絶望の中で、主の声は私たちの信仰を呼び覚ます！

②**圧倒的な権威への信頼！**主は起き上がり、『黙れ！静まれ！』と嵐を一喝して大嵐に！弟子たちは「風や湖まで言うことをきくと、いったいこの方はどういう方か」と問う。同じ苦難で、大パニックと安眠の差は「支配」の違い。弟子たちは闇と死の恐怖に支配され、主は死を越えた圧倒的権威に支配されていた。『黙れ！静まれ！』とは、死と絶望の闇に勝利し、人の心に取りついて人生を滅ぼす悪を一喝する主の声。十字架の主の勝利の声をいつも思い出そう！

③**臨在の主への信頼！**イエス様は、苦難の前も、苦難の時も、苦難の後も、ずっと最初から共におられた！私たちが信仰をもった時から共に歩み始めた訳ではない。私たちを母の胎で生まれたお方は、あらゆる場面で語られ、特に苦難の中で叫ばれる『わたしは決してあなたを離れず、あなたを捨てない(ヘブル 13:5)』。

★今週主の御言葉と、その権威、そして勝利の主、慰め主の臨在を忘れないためには、どうすれば良いだろうか？